



教員が研究の楽しさを語る

第231回(7/30)辻 耕治先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

栽培植物と農耕の起源

著者：中尾佐助著

出版：岩波書店, 1966.1 (岩波新書, 青版 583, G103)

コメント：この分野の研究者には古典のような一冊。著者の豊富なフィールド調査の経験・データに基づく世界の農耕文化の類型化が、本著のハイライトです。研究者として備えるべき視野・思考を感じ取ることができます。

Book2

マレー蘭印紀行 改版

著者：金子光晴著

出版：中央公論新社, 2004.11 (中公文庫, [か-18-8])

コメント：1920～30年代頃のマレー半島等での見聞をもとにした紀行文。詩人である筆者の独特の感性と観察眼により紡がれる珠玉の文章は、長編詩の味わいです。演者がマレーシア留学中に研究対象としたニッパヤシについての描写もあったため、興味深く読みました。





Book3

インドのフードシステム：経済発展とグローバル化の影響

著者：下渡敏治, 上原秀樹編著

出版：筑波書房, 2014.8

コメント：経済成長著しいインドのフードシステムについて、複数の著者が分担して各々の専門分野のトピックについて報告・議論しています。演者らは、インドにおける大豆生産の現状と課題についての執筆を担当しました。

